

# 岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会

## 1. 名称および目的

---

**県下全高校の生徒が情報格差を受けることなく、学べる環境を得られるようにすること**

### ※取り組むべき課題

- ・ 経費の問題…………… すべての高校図書館の機器の更新や、システムの維持管理がスムーズにできる体制の構築 など
- ・ 資料の問題…………… 県立図書館資料搬送事業の利用拡大と学校図書館支援用図書の収集搬送事業だけでは対応できない、学校図書館間の相互貸借への対応 など
- ・ 物流の問題…………… 公共図書館と学校図書館、学校図書館間のより充実・発展させた物流システムの確立 など
- ・ サポート（人）の問題… 高校図書館相互でサポートし合える環境の整備やHPによる情報発信 など

## 2. 活動内容

---

- (1) 学校図書館支援用図書の選定と収集
  - ・ 選定内容の精査、県立図書館や書店での現物調査
  - ・ H23.4 運用開始を受けて、県立図書館と学校図書館間の連絡、調整
- (2) 高等学校図書館間横断検索・相互貸借に関する研究
  - ・ 学校図書館間横断検索システムへの参加や学校間相互貸借導入に当たって、解決しなければならない問題の調査・研究
- (3) 高等学校図書館間サポート体制の構築
  - ・ 【継続実施】図書館システムの維持・管理を中心した、学校図書館運営全般におけるサポート（電話やメール利用・現地に赴いての技術支援）
  - ・ 年度ごとの意見の集約と見直し
- (4) 岡山県高等学校図書館HPの作成・更新
  - ・ HPの仕様や内容についての調査・研究
  - ・ 管理方法（管理者）の検討
- (5) 県立図書館や指導課等関係部署との情報共有、定期的な連絡調整会議
  - ・ 県立図書館、SLA、校長会、事務長会、指導課へのアピールと情報共有
- (6) その他
  - ・ 3支部全体に関わる事柄についての連絡調整

## 3. 今年度の活動について

---

- 平成 23 年 5 月 12 日 研究委員会活動説明（倉敷天城高等学校）  
平成 23 年 6 月 「岡山県高等学校図書館司書部会HP」を開設（※随時更新）  
平成 23 年 6 月 9 日 高教研学校図書館部会総会（ライフパーク倉敷）  
サポート校事業全校実施承認  
平成 23 年 6 月 23 日 第 1 回研究委員会（倉敷天城高等学校）  
平成 23 年 6 月 県立図書館学校支援用図書に関する意見集約  
平成 23 年 7 月 7 日 サポート校事業全校実施周知文書配布・事業開始

- 平成 23 年 8 月 26 日 第 2 回研究委員会 兼 県立図書館との連絡調整会議（岡山県立図書館）  
 平成 23 年 11 月 県立図書館学校支援用図書 学校セット選定（3 支部で分担）  
 平成 23 年 12 月 6 日 司書部会 3 支部合同研修会開催（各支部第 4 回司書部会を合同で）  
 平成 23 年 12 月 6 日 第 3 回研究委員会（岡山県生涯学習センター）  
 サポート校事業アンケート実施  
 平成 24 年 1 月 31 日 第 48 回高教研学校図書館部会研究協議会（ライフパーク倉敷）  
 平成 24 年 2 月 16 日 平成 23 年度図書館職員研修講座（第 7 回）にて事例報告  
 「高校図書館と県立図書館の連携」  
 平成 24 年 2 月 17 日 第 4 回研究委員会 兼 県立図書館との連絡調整会議（岡山県立図書館）

【平成 23 年度サポート校組み合わせ】

【備前地区】					
朝日	—	御津・明誠	大安寺	—	邑久・関西
一宮	—	和気閑谷・備前片上	西大寺	—	倉敷鷺羽・備前緑陽 — 瀬戸
東商業	—	倉敷翔南・後楽館	岡山南	—	操山
玉野	—	玉野商業・玉野備南	玉野光南	—	城東
岡山工業	—	烏城・瀬戸南	芳泉	—	興陽
就実	—	商大附属・学芸館	山陽女子	—	創志
岡山	—	朝日塾	理大附属	—	白陵・吉備高原
※東岡工は、県内の探検隊を使用する学校の相談窓口を担当するので、ペアは組まない ※瀬戸は、倉敷鷺羽と組む。ただし西大寺と倉敷鷺羽の組み合わせも残す					
【美作地区】					
津山	—	津山商業・蒜山	津山工業	—	勝間田・真庭落合
作陽	—	林野・勝山	美作	—	津山東・真庭久世
【備中地区】					
青陵	—	鴨方・新見	倉敷南	—	総社南・井原（南・北）・井原市立
倉敷商業	—	精思・玉島商業	古城池	—	矢掛・真備陵南
水島工業	—	高松農業・県立玉島	倉敷中央	—	笠岡工業・笠岡商業・早島養護
天城・（総社）	—	笠岡・市立玉島	高梁	—	高梁城南・高梁市立宇治・松山
倉敷工業	—	市立工業・川崎医大附・共生・倉敷	金光学園	—	おかやま山陽・龍谷・興讓館
清心	—	翠松・高梁日新			

全体の 3 割強の学校がサポート事業を利用した。

その多くが電話やメールなどによるもので、出張を伴うサポートはほとんどなかった。

今年度新たに設けた図書館システムサポートの利用が複数あった。

（サポート事業アンケート結果より）

4. 平成 23 年度 岡山県高等学校図書館ネットワーク研究委員会 名簿

委員長	岡山県立岡山東商業高等学校	司書	神田 有香
研究委員	岡山理科大学附属高等学校	司書	福森 裕加
	岡山県立倉敷工業高等学校	司書	加茂 清太郎
	岡山県立高梁高等学校	司書	田川 沙夕里
	岡山県立津山工業高等学校	司書	永井 淳子
	岡山県立岡山芳泉高等学校	司書	東根 さやか
事務局	岡山県立岡山一宮高等学校	司書	小橋 康智
	岡山県立倉敷天城高等学校	司書	朝倉 省子

※ 今年度より委嘱を受けて活動